

野川河床整備に関する川づくり説明会（第3回）の議事要旨

東京都は、野川の治水対策として進める河川整備に関し、環境面等も考慮した世田谷区区間の整備概要について、川づくり説明会を開催し地域の皆様に説明させていただきました。

説明会当日の議事要旨を作成いたしましたので、ご覧ください。なお、本議事要旨は、説明会時に頂いた意見や質問等を取りまとめたものであり、文言等の要約や説明を付加し作成しております。

1 開催概要

日時	平成30年9月19日(水) 18時00分～20時00分
場所	一般財団法人世田谷トラストまちづくりビジターセンター
参加人数	28名

2 主なご質問・ご意見と都の回答（要旨）

ご質問・ご意見	都の回答
<p>野川は人工的な部分もあるが自然的で ごくよいと感じている。環境と河川整備とを両 立することを考えられていて、前回よりも具 体的な説明だった。</p> <p>野鳥（サギやカワセミなど）が工事期間中 になくなってしまうことはないのか。工事期 間の対策は考えているのか。</p>	<p>今年度の工事では、左岸側には基本的に重 機を入れないようにする予定ですが、河道内 には重機や人が入る必要があるため、一時的 に鳥類などはなくなる可能性があると考えてい ます。</p> <p>野川では、工事中になくなってしまった生物 が戻ってきてくれるような環境となることを目標 に整備を行っています。</p>
<p>植物と動物は共生しており、川には底生 生物などを含む多くの動物も住んでいる。昨年 と今年を比べると鳥類（カワセミ・カルガモ・小 サギ）が減っているという声を多く聞く。</p> <p>動物に関する調査を実施しているのか、ま たデータがあれば知りたい。</p>	<p>環境調査を行っていますので、次回の説明会 において調査結果を報告するよう検討いたしま す。</p>
<p>左岸側に可能な限り手をつけず、右岸側を 整備することはとてもありがたい。</p> <p>その際、カワセミ営巣のために可能な限り 土が露出する工事を要望したい。</p>	<p>カワセミの営巣状況については、現地調査や 近隣の皆様からの情報などから、左岸側の河岸 に多くの痕跡があると確認しています。</p> <p>今後、右岸側にカワセミが営巣を行うかはわ かりませんが、年月をかけて左岸側のような環 境が構築されることを期待しています。</p>
<p>川がカーブして削られている箇所に関して はどのように考えているか。</p>	<p>既設護岸の前面を掘削するため、必要以上 に護岸が削られることのないように新しい護岸を 設置します。新しい護岸の前面の土は自然の営 力に任せるよう考えています。</p>

ご質問・ご意見	都の回答
<p>洪水時の総水量や水位に関して、下流側への影響や一時的な貯水は考慮されているか。</p>	<p>野川では、1時間 50mm の降雨に対応する河道整備を下流側から行ってきています。そのほか、調節池など含め、1時間 65mm の降雨まで対応できるような計画により整備を行っています。</p>
<p>説明会はなるべく多くの人に参加できるように土日に設定することはできないのか。</p>	<p>会場などの都合もありこの時間に設定していますが、同じようなご要望は他からも寄せられておりますので、次回説明会の日時設定では再度検討させていただきます。</p>
<p>上流区間において、川底を深く掘り粘土を敷き詰めたことがあったが、施工直後に匂いが出ていた。今回の整備において粘土などを敷き詰める予定はあるか。</p>	<p>野川では、掘削による瀨枯れ(水が川底に浸透してしまう現象)を防ぐために必要に応じて川底に水を通さない粘土を張りますが、今回の工事区間では粘土を張る予定はありません。</p>
<p>直線的になってしまったみお筋にバープエ※などの対策を施す予定はあるか。 河川が平らだと魚も鳥も来ない。今回整備後の対応について、検討だけではなく予算繰りをお願いしたい。</p>	<p>今回の工事において直線的になってしまった区間の対策は予定していません。 直線的になった区間については、大きな工事を行わずに曲線的な水の流れになる対策方法を検討中です。また併せて、実施方法については、維持管理を行う世田谷区と調整を図ってまいります。</p>
<p>オオシマザクラ下に設置するマットは繊維系のものか。また、今までは使っていないマットか。左岸側にも同様のマットを設置するのか。 図によっては、計画高水位以下に枝が残されているが正確なものか。</p>	<p>オオシマザクラ防護のためのマットは、これまでの区間では使用したことのない繊維系ものを計画しています。左岸側については設置する予定はありません。 オオシマザクラの図は、検討中のため最終的なものではありません。</p>
<p>最近のゲリラ豪雨の被害の大きさは大変なものである。調節池をもっと増やし、できれば並行して整備してほしい。 外環予定地等はとても広く、活用できるのではないか。</p>	<p>調節池の設置には広い土地が必要となりますが、外環予定地等の利用については、本説明会においてご回答することは出来ません。</p>
<p>次回の説明会の際に平成 32 年度の工事も一緒に説明してほしい。 谷戸橋より上流側も左岸側はとても緑が多いため、引き続き保全を考えた整備を行ってほしい。</p>	<p>次年度以降の工事についての説明は、担当部署と調整させていただきます。 上流区間の担当部署とは今後も情報共有を図ってまいります。</p>

※バープエ：川の流れに対して、河岸から上流側に向けて突き出して設置する、高さの低い水制の一種。

流れに運ばれてくる砂を溜めて寄り洲を形成することを目的とした河川工法。

(国立研究開発法人 土木研究所 自然共生研究センターHP より)